

特別活動

各活動の特質を踏まえた児童生徒の自主的、実践的活動の充実を図る授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は学習の例と対応

学級活動(1)

- 話し合う必要感のある議題を学級全員で決定できるよう、日頃から様々な関わりの中で、よりよい学級・学校生活づくりへの児童生徒の問題意識を喚起する。
- よりよい合意形成が図られるよう、意見の背景にある思いや願いを共有しながら多様な意見のよさを生かして話し合うための手立てを工夫するとともに、発達の段階に応じた支援を行う。
- 決めたことを協働して実践し、その成果や課題を実感できるよう、事後の活動の充実を図るとともに、振り返りを行って、その内容や実践の様子を学級全員で共有し、次の課題解決に結び付ける。

学級活動(2)(3)

- 児童生徒が題材を自分事として捉え、問題意識を高めることができるよう、アンケートや資料等を活用する。
- 自分に合った具体的な実践目標や解決方法を意思決定できるよう、学級での話し合いに加え、教師からの情報提供やアドバイスを生かして、自分の考えを広げたり、自己の課題について多面的・多角的に考えたりする場面を設定する。
- 決めたことを粘り強く実践し、現在や将来の生活について意識することができるよう、定期的に振り返りの時間を設定し、実践状況を確認し合ったり、目標の見直しを図ったりする。

よりよい合意形成のための話し合い活動の充実を図る学習の例

中学校第1学年 議題名「学級目標達成プロジェクト 学級生活を見直そう」

学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

◇本時のねらい 学級目標の達成に向け、多様な意見のよさを生かしながら、課題解決の方法について合意形成することができるようにする。

学級目標は、学級生活の充実と向上を目指し、生徒が意識して活動できるような内容にすることが大切です。返り、議題を設定することも考えられます。①

提案理由を明確にして合意形成を図る際、よりどころとします。②

	生徒の活動
事前	<ul style="list-style-type: none"> 学級目標の達成状況に関するアンケートを行う。 計画委員が議題の提案者と共に提案理由を具体化し、学級会の計画を立案する。 提案理由に沿って、ワークシートに各自の考えをまとめる。
本時	<ul style="list-style-type: none"> 学級会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <会次第> <ol style="list-style-type: none"> 開会の言葉 計画委員の紹介 議題、提案理由の確認 決まっていること、話し合いのめあての確認 話し合い <ol style="list-style-type: none"> 課題解決のための取組 Iで決まった取組をどのように行うか 決定事項の確認 振り返り 教師の話 閉会の言葉
事後	<ul style="list-style-type: none"> 学級全員で協力しながら決定事項を実践する。 定期的に振り返りを行って、よりよい実践の継続につなげる。

【提案理由】

私たちは、学級目標の「協力してStep up!」を合い言葉に行事や授業に取り組み、仲を深めてきました。しかし、なれ合いになっているところもあり、先日実施したアンケートでは「清掃時の協力」が課題に挙がりました。そこで、清掃への取組を改善して学級目標を達成したいと思い、提案しました。

5 I 課題解決のための取組について出合った意見を比べ合う場面

- ・ Clean-1 グランプリ (最もきれいに清掃した班を表彰する)
- ・ 静掃時間プロジェクト (清掃時間中、無言で清掃を行う)
- ・ Time Keep Clean [TKC] (清掃時間を守って清掃する)

「C-1 グランプリ」を決めるのは、どの班も意欲的に清掃に取り組み効果はあると思いますが、それぞれ清掃場所が違うので、実際に判定するのは難しいと思います。

「静掃時間プロジェクト」がよいと思います。仲がよくて清掃中も話に夢中になりがちなので、改善した方がよいと思うからです。

無言で取り組めるかどうかは、一人一人の心掛けによると思います。時間内に清掃を終えるために班の仲間で協力できる「TKC」のほうが、より提案理由に合っていると思います。

私も「TKC」に賛成です。仲間と協力して清掃に取り組めるほか、時間を守ることが学級生活の見直しにもなると思うからです。

【比べ合う】では、意見の共通点や相違点を明確にしなが、提案理由や話し合いのめあて等を視点として意見を比べ、よりよい意見を見いだすことが大切です。②

5 II Iで決まった [TKC] をどのように行うかについて、出合った意見を比べ合い、まとめる場面

- ・ 自分の役割が終わったら他の人を手伝う。
- ・ 一番早く清掃場所に行った人が水をくむ。
- ・ 反省会の最後に次の日の役割を確認する。

「一番早く行った人が水くみ」に賛成です。水くみが遅れると、時間に間に合わないからです。

それだと、毎日同じ人が水くみすることにならないか、心配です。

学級目標の「協力してStep up!」の達成に向けた工夫を考えて意見を出しましょう。

「水くみ係が清掃場所に早く行く」のはどうでしょうか。自分の役割を責任をもって果たすことが「協力」することになり、学級生活の見直しにもつながると思います。

賛成です。そのほかに「自分の役割が終わったら手伝う」ことも「協力」になると思います。

「役割の確認」に賛成です。「水くみ係が早く行く」ためにも必要だし、この二つを合わせれば、清掃に早く取り掛かれて時間を守れると思います。

ここまでの話し合いを踏まえて、「自分の役割が終わったら手伝う」、「反省会で次の日の役割を確認し、水くみ係は特に早く清掃場所に行く」について意見はありますか。

【まとめる】では、意見を合わせるなど、できるだけ多くの意見のよさを生かし、全員で折り合いを付けて合意形成を図ります。②

事後の活動でも、生徒が提案理由に基づき、協力して実践することが大切です。実践後の振り返りを充実させ、互いのよさを頑張り認め合えるようにします。③